滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料
一年ヶ月以上　銀十五仙乃至十山
一ヶ月以內
一長期連揭減價面議

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社　(電話二九番)

粱市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
等至共上車三十餘輛
邊看共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一連
一フールスカツプ全
一中判洋紙全
一半紙野紙　百枚
一卷紙　四十枚續
一圓八十錢
一圓
四圓
二圓
二十錢
十四錢

一椅子
一簞笥
一卓子
一卓子掛
一廚房用戶棚
一圓五十錢以上四圓五十錢
三十圓以上三十五圓
四圓五十錢以上十三圓五十錢
六圓以上十二圓
七圓五十錢以上十圓

一縞毛布　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

告示

大日本帝國營口監督與爲出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示

右諭通知

明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室
百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

長幸丸　三月廿八日着
山東丸　大沽、芝罘、門司、神戶行　三月廿九日發
橫濱丸　大沽、芝罘、門司、神戶行　四月五日發

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行　(電話廿六番)

三井洋行

●精製白砂糖新入荷物あり

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遐邇如蒙各商光顧請駕臨是荷者

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候　(電話百二十八番)

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴綿布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋傘鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部

這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一八二

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十二號

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌(斯違)櫻花牌(撬利)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街　東櫃(電話九十五番)
西義順棧內　西櫃(電話架設中)

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議　(電話六十六番)

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部
河岸通(電話五十二番)

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●

新民屯停車場前
●同支店●

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

失票聲明

啓者本號於本月十四日接省城來電云有阿什河竇泉長在阿由和順昌匯妥長記名下營平銀一千零柒拾兩整係昌字二十八號至營交與本號代取此票托友携營不意行至奉天車站偶逢匪人竟設僞局詐去當即寄電之後本匯主業已來營即至同興宏內厲和順昌該二家自昔頗有相契刻間已將此匯欵如數使出倘有官商拾得此票者即作廢紙特此聲明

二月廿一日恒增通主人啓

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不誤再本局十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

聲明假冒

協泰昌興記絲號大有昌洋雜貨號外面並無作保等情近因同字號最多恐有假冒本號圖章特此聲明

本號主人白

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

宗旨　造成辦公實業家
學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、商律、簿記、理財、商品、商業學、圖畫、地理、歷史、理化、日語、英語、体操
學額　五十名
資格　十五歲以上文理明通者
學費　特免惟寄宿生自備饌費餘者本校勢辦
入學　陰曆三月初一日
夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限

○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路局所辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担算或論噸算價格外均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知

新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社
牛莊支店
(電話六十六番)

東清鐵道裕和盛運輸局　(電話八十一號)

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

電氣諸機械　大販賣

本店　天津日本租界電話二〇〇
支店　營口永世街甲二一五號

三友洋行電機部　(電一五四番)

主任　朱牟田寅吉

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣

營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

丸重洋行
貨物運輸

啓者本行前在營口臺經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞

電話　營口八拾八番　牛家屯四拾六番

東京電報

●鐵國案の下院通過 一時朝野の大問題たりし鐵道國有案及び京釜鐵道買收案は昨十六日無事衆議院を通過せり （三月十六日發電）

倫敦電報

●佛國新内閣と前内閣との方針 サリアン氏の新内閣は佛國内閣中の最も進歩せるものなりとの評あり同内閣は昨日の會議に於て引續き寺院財産目錄の調製を執行することゝ外交特にモロッコ問題に就ては前内閣の方針を繼續することゝの二件を決定せり

●英國首相と下院議事 英國首相バンナーマン氏は改良俱樂部の宴會に臨み宣言して曰く衆議院に於て些々たる事に拘泥して無益の時間を消費せさる樣議事方法を改良するは最も緊急の問題なりと （以上三月十四日發電）

●モロッコ會議破裂の危機 アルジエシラスに於けるモロッコ會議は中止となれり破裂は目前に迫れり各國政府は直接に談判を開始するなるへし

●養老金給與案の通過 英國衆議院は老年者に對して養老金を給與すへき決議案を通過せり大藏尚書アスキイス氏は主義に於て決議案に同意せしも之れを實行するに就ては歲費の節減を要する旨を述べたり

●比島殺害事件調査 米國上院は菲律賓に於ける婦女幼者の殺害事件に關し精密なる調査を要求する旨の決議案を通過せり

●英國本年度の歲計 英國政府統計表の示す所に據れば本年度の歲入は歲出豫算に超過すること約九萬圓の見込なりタイムス新聞は現狀に徵すれば從一千九百〇六年至千九〇七年一年度の歲入は一千七百五十萬圓の剩餘を生ずべしと云へり （以上三月十五日發電）

●軍備縮少動議の敗滅 英國衆議院に於て議員シーリー氏は常備軍より一萬人を減ずべきことを動議せしか二百九十六票に對する五十六票の少數を以て消滅に歸せり

●虐殺と米國の激論 ウード將軍の菲律賓戰鬪報告書は米國上院に回附せられしか非常の激論を惹起し虐殺非難の聲甚だ高し

●日露の特派使節交換 露國皇帝陛下は使節として大公一名を日本に派遣せらるゝを以て日本皇帝陛下よりは皇族御一名を露國に送らるゝ筈なり （以上三月十六日發電）

雜報

●大連通信 （十五日發）

▲凱旋軍隊乘船終了 十二日に鐵嶺を出發したる最終の凱旋軍隊は當大連を今十五日、宇品に向ひたる、近江、八幡、臺北の三隻、門司に向ひたる彌彦、武陽都合五隻を以て全く凱旋軍隊の乘船を終り申候。來る十八九日頃より更らに守備二個師團の復員に付豫備後備の補充兵歸還を始め可申との事に候。

▲慰勞的歸休許可 或は軍人として或は軍屬として軍務に鞅掌したるものにして凱旋爲す能はさる的職に勤務罷り在る者に對し歸休を許可せられたり、民政署にては關谷事務官之れか歸休の劈頭第一と註せらる留守代理者として入澤事務官庶務部を統へ居られ候。

▲武內鐵道提理 武內工兵大佐は大輸送後の鐵道方針打合せの爲め奉安間の輕鐵、京義、京釜を經由して東上の途に就かれ候、商賣道に依て賢しとや、鐵道の長官、鐵道によりて上京す是方追を得たるもの歟とも愚考致し候呵々

▲鐵道の速力 從來軍隊輸送中は平均一時間十三哩强の速度に過ぎさりし也、更らに補充兵の歸還輸送を終了次第其速力は改正せられへく風說有之候、即ち一時間十八哩乃至二十哩の速力との事に御座候、假りに一時間二十哩とせは大連營口間從來十八時間を要したるものヨシ大石橋の接續時間を加算するも尙十時間位にて運轉を出來得る事と相成可申候、商業發展上其改正希望且一日千秋之を期待する次第に御座候

▲何處も同し秋の夕暮 とやら當大連も營口と等しく軍隊向物資を專らに販賣せし商店は今や店頭寂寥閑散チャングイ先生居室に籠閉遣ひ込みの穴埋算段に齷齪乎として苦慮煩悶するの輩稀には有之へしとの事にも御座候、何れの商店も槪して殘品整理掛金徵收損益勘定等に牙籌を捻操廻し居り候、勘定合ふて錢足らすとやら一時頗る景氣張りし商估も案外の計數を得たるに吃驚本店或は資本主へ致すへき精算報告其報告書の摘要欄朱書の細字恰も是れ政府か鐵國案說明に苦心經營するとトンヽヽ、イーヤンの阿呆らしさ可笑味を描出、叩頭百拜閉口頓首、敢て厚顏鐵面の聲に慣ひ居るチャングイ先生等も有之由に傳聞及候。（在大連安齋生）

●鐵嶺雜記（三） 朴捻生

▲同胞の居住者 去る十日迄の調査に依れは此地に居住する同胞は旅行者を合して七百七十人なりと云ふ最も是等の人員は總て男子にして余か入城せし翌日即ち十二日より例の女軍日々百人內外宛押し懸け來りたるを以て現今は優に千人以上なり

▲邦人の職業別 余が入城して坐ろ奇異の感を起したるは邦人の職業なり雜貨其他に於て專業清人と對抗して營業をなす者至つて少なく或る五六の商店を除、の外は例に依りて同志打の現景なり加之一業をなす者殆と稀にして雜貨の傍ら理髮店湯屋料理店宿屋と一人にして數種の業を營み其繁雜なる事到底筆紙に盡し難し以て一般在留邦人の生活程度を推知するに餘あり今假りに其職業別を揭くれは

官衙用達土木建築請負旅館雜貨業二 雜貨魚類菜青物商二 貿易商一 飲食埋髮業二 時計商一 旅館料理飲食店四 酒糀雜貨四 寫眞業一 旅館雜貨料理飲食業一 時計料理店一 旅館料理業二九 雜貨湯屋二 副食物雜貨飲食二 旅館料理菓子商二 雜貨飲食菓子料理旅館業四 雜貨飲食店四 雜貨建築材木一 雜貨木材旅館玉突料理店一 雜貨三九 菓子料理雜貨湯屋蒟蒻製造五 旅館菓子蒟蒻製造三 菓子製造八 雜貨湯屋旅料理菓子五 旅館九 旅館菓子業五 雜貨菓子二 雜貨料理業一 旅館雜貨料理飲食一 運搬雜貨料理飲食三 料理業七 土木建築請負旅館料理湯屋材木業九 輸送業四 味噌醬油料理時計菓子業一 菓子製造一 飲食菓子四 饂飩蕎麥製造業二 菓子飲食物荷賣一 酒醬油味噌獸肉野菜業一 用達牛馬買賣商一 馬匹旅館料理一 雜貨海產物商一 吳服菓子商一 理髮菓子味噌醬油料理業一 輕便鐵道貨物輸送業一飲食店一〇 賣藥旅館一 理髮業一 大工四 雜貨依托販賣一 寫眞六

▲重なる商店 此地に於て眞に實業を營み居れる商店は正金、三井、煙草專賣所（代々木江副の組合店）有馬組、榊組、河野組、豊生洋行、金升洋行、河內組、森永組、白川洋行、海仁洋行、英治洋行、松茂洋行、丸二支店等にして是等商店は永住の目的を以て營業をなし雜貨專業を以て清人に當るあり或は輸送業者あり大豆、豆糟買入專門の人ありて夫れ〳〵清人直接取引を開始し盛に營業をなせり

▲物價 物價は營口よりは二割方安く高き品に至つても殆と當地と大差なく今假りに其一二例を揭くれは余か蜂印の葡萄酒一本を購ひたるに其價四十五錢（營口は五十錢）飮食物のうどん又はぜんざい等に至る迄も二三割方安く總して雜貨の如きも僅に營口より三割は安價なり最も是等の原因に就ては種々あるへしと雖も一は大連より廻りたると供給の潤澤なるが第一の原因なりと云ふ又營口にては稀に見る日本補助貨即ち一錢二錢銅貨の多きに至つては實に一驚を喫せり假りに大和貫一個を買はんか必ず銅貨の釣錢を出し又苦力の懷中には常に銅貨を貯へ居る一例に徵して明なり

御來朝中の英國皇甥 コンノート親王殿下

●奉天雜觀 瀋陽生

▲奉天の陸軍紀念日 十日の奉天は日本人得意の奉天なりき軍隊、鐵道班、郵便局、銀行、會社商人は午后一時より小西邊門の城外巍然たる高樓の一堂宇もと露將クロパトキンの本陣とせし清國廟を中心に幾千の日本同胞を集めて熱誠なる一大紀念會の祝賀を擧けられたり支那芝居に藝者の手踊、兵士の角力、壯士俳優に擬したる芝居は場內各所に面白く演せられたり藝者の踊りは金城館と奉天館の二軒にて就中喝采を博したるは金城館出し者として奉天陷落萬歲踊にして「雪や吹雪と降りしきる。沙河の荒野を踏み越へて忠勇無双の我兵か。一度に打出す廿八サンチ。砲聲天地に轟きて。なんなく陷る奉天の堅き守りもなんのその。」と舞子藝者が勢ひ込んで踊り出したる時は思はす滿場の大拍手を以て迎へられたり金城館の藝者總勢十五六人を見たり奉天粹人の曰く金奴は藝、金六、金蝶、金榮金花、金成は美、金吾は愛嬌に於て盛んにても囃され居れりと

▲奉天の人氣 凱旋隊終了後の奉天は二樣に解釋せらるゝものゝ如し悲觀的に見る者は荷物を片付け鐵嶺昌圖乃至撫順と方面を替へて出發するものありと雖も樂觀的に見る者は曰く戰爭當時の盛況を何時迄も夢見るは間違ひなり平和の時代となれは商賣も自から平和の方針に基きて勉强せさる可らす奉天には他に見ること能はさる滿洲博覽會のこの五月より開かるゝあり滿洲人は愚か北京天津吉林偖ては哈爾賓より群集する支那人のこの奉天にて投下する購買力は多大なるに相違無かるへし假令今月來月の不況を見るも一時の反動として忍はさるへからすと余はこの樂觀說に贊成する者なり

▲物價 材木は未た隨分高直の位置を占む六分板二圓七十錢四分板二圓四十錢貫七十錢丈物杉四寸角四圓九十五錢桁用二間もの二圓四五十錢敷居鴨居二間もの一圓五十錢、炭一俵七十錢米一石廿五六圓理髮床一人八十錢ビール一本四十錢隨分直段は安からす

▲料理店 奉天第一等の料理店は金城館日淸倶樂部奉天館にして其次きは瀋陽館日章館日奉館好々亭紅葉館にて其他は野戰的經營になりたる一時的の料理店なり現今料理代價は上中下三等に分れたるもの〻如く下等の料理店は隨分直段も安値なれとも其代り料理は極めて粗末なりと覺悟せさるへからす今回料理店同業者集會の上規約を設けて上中下の三等に區別し直段を一定して平和的に商賣をなす由近來評判の宜しくして料理に强勉するは金城館日章館紅葉館なりと云ふ

●東淸鐵道の收入 東淸鐵道昨今一日の收入は一哩に對し四十圓位なりと云ふ試に內地の鐵道に觀るに一日一哩に對し四十圓前後の收入あるは九州鐵道及び關西鐵道等にして先日來發せし村上享一氏の語る所に依れば九州鐵道は約五十圓にして關西鐵道は四十圓位なりと云ふ尙は仝氏は東淸鉄道一日一哩に對する經常費は二十圓以內にして足らんと語れり事實果して如何なるものか

●小銀貨の下落 昨今は小銀貨甚だ下落し利益に拔目無き支那人は其の買物等の釣錢には申合はしたる如く必す皆な此の小銀貨を出す樣になりたりと云ふ貨幣制度の不完全なる國に生れたる丈けありて彼等か此の方面に掛けての知識の進歩は驚く可きものあり

●常盤商店（郵便注文營業） 歐米にては如何なる僻陬の地に在りても一片の端書にて數千里を隔つる大都會より自己の希望する品物を注文し得る方法夙に發達し其便利極めて大なるに拘らす我邦にては未だ此等の便利なる方法の開けざる爲め地方に住する人々は只其地方に於て必要品の需要を充たすに過きすして其不便不愉快の言ふへからさるを遺憾とし今回理學士大谷津直麿氏大阪市北區東梅田町二九五番地に常盤商會なるものを設立し製造元又は卸賣業者と需要者との間に立ち直接品物を取次ぎ多くの中間取扱者の手を省き無益の費を節する便利を計る由なれは一圓以上の品ならは大抵の品物は代金引換小包にて取寄せ得る便利あり但呉服物は反物に限り又仕立物染物の依賴には應し難しとなり營口の如き不便の土地柄に在りては好個の便法なれは注文者は其品名、分量、形狀、大小、長短、品質、使用向、代價及ひ住所姓名受取るへき郵便局名等明細に記載し申込まるれは誠實に取扱ひ呉るゝといふ

●本願寺の彼岸法要說敎修行 當地本願寺出張所には本日より來る廿四日まで一週間（晝二時間にて每日午後七時）殊に又二十一日の中日には晝夜（午後一時及七時）に彼岸法要を懇に修行せらるへく寺本布敎師より說敎ある由なれは佛敎有緣の善男善女は皆見佛聞法の勝緣に侍りて一には各自祖先の靈に追善の回向を手向け又一には悲智圓滿なる淸き佛陀の福音に接し洗滌心垢以て向上的の修養を勉めなは斯る萬里の海外に於て此上なき仕合なるへし因に來る二十一日の中日の法要に於て當地永世街田邊源吉氏夫妻之が施主となりて參詣者一同へ供養を差出すとのことなり

投書かご

▲四ヶ年間測量工夫の經驗あり何處かお雇下さる所はありませんか乾度忠實に働いてお目にかけます（求業生）▲二本町の湊川に緣ある某料理店の主人夫婦の不人情さ鬼の妻に蛇とやら三度の食事さへ二度は冷飯と漬物剩さへ藝妓仲居共が覺えぬ貸金を作くり其働高より差引勘定するげな女供近々ストライキを始めると言つて居る改めぬと今にえらい目に遇ふぞ（注進生）▲遼陽に日本婦人協會といふ大々的標札が掛つて居たのでコリヤ感心だと思つて物數寄に訪問したら檢黴所であつた魂消て物が言へぬナゼさういふ札を揭げるかと尋ねたら檢黴所では支那人に少し憚る所があるからだと答へた戰勝國でも支那人にさへ恥かしいとをやら無さやならぬ必要があるとは情けない（旅行生）

●飛脚旅行（三） 朴捻生

流石便乘者の難有たさ一時間半每に發車する汽車には何時にても便乘を許さるゝ一點に就ては迚ても他のお客連中の想像し及ぶ所でないこれには誰も涎を垂らして居たらしい余が停車場に着した頃は一般平民の方々があちらこちらで欠伸の百度ひもやつてまて二時間餘りも待たねばならぬと愚痴をこぼして居つたが、そこへ行くと便乘者だ直ぐ飛込めるので余の如き飛脚旅行者には一層難有さを感じたそこで遼陽發午後三時過ぎの汽車に乘込み例に依つて貨車の護衛兵の如く一と隅に佇ずんで居た其退屈さ野外を見るにも窓はなく夜に入るとボツ〳〵下の方より寒氣が侵襲するし今度は平民の諸君と反對に欠伸の百萬遍もやらかすと云ふ有樣自分ながらお氣の毒な感がした兎角する內汽車君の方ては遠慮なく進行して晩の八時過ぎに奉天に着したて之から先づ少々困難遊ばした城內迄の道のり先づ制規の如く便乘券を業務取扱所に返納し扨聞けば約廿丁計りあるとの話晩の事とて苦力は其邊に一人も居らず無論馬車もなく何れの方角を指して行けば城內へ行かれるやら一向判らず停車場て尋ねたいのは腹一パイだが遼陽の憲兵さんに聞いたやうな敎へ方をせられては癪だと思ひ獨り大道をブラ〳〵步き居りし所へ天の惠みか一臺の馬車城內に歸り途らしき者に出遇ひ、城內歸る〳〵とやつた馭者先生喜んで直ぐ樣乘せたので心中大に喜び先づ一と安心と乘つたものゝ余はガタ〳〵馬車には臍の緒切つて始めてゝある、と言つて黑塗護膜附二頭引の馬車にも乘つた事はないが其心持ちの悪さ丸て蜆の中て劍舞と二和加と合併芝居をやつて居るやうな塩梅だ併し盲者と同然で何れが城內なるや判らぬ悲さ我慢して居る內に一つの門を過ぎたやうに思はれたので顏を突き出して見れば小西門街と大書してあつたので漸く安神して最早究屈なガタ〳〵に乘る必要もないと思ひ下車して當地の日本館が支店を出して居るを幸ひ其家を尋ねて行けば折ふし主人公の三野君が居られたので心持ち能き待遇を受け其夜は三野君と一杯傾むけ雜談をして二時頃床に就いた

營口商店案內

●關東公司

關東公司の起原は二三有志の聯合して日露戰爭を當て込み輸送業を開始せしに始まり同時に之れに關聯せる所謂戰爭事業を經營せるも日を經るに從ひ漸次形體を變して今の關東公司と爲り三谷末次郞氏の專務に歸し雜貨販賣を主とせり東洋一なる淸酒及びスペシャル●ライトの特約販賣を爲し大に販路を擴張す近來奉天に雜貨店を開き亦多少の好景氣を見る

大連行 車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝帮子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
山海關至天津	上[illegible]五、〇〇	下五、五五

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
北京至塘沽	下二、四〇	下八、三〇

●彼岸法要說教修行

本日ヨリ來ル廿四日マデ一週間每日午後七時又廿一日ノ中日ニハ午後一時及七時晝夜彼岸法要說敎修行ス

天氣

營口地方天氣豫報 自三月昨日午後六時 至三月本日午後六時

北又り東の風曇り後晴れ

日報倶樂部

●春の景色　春野彌生

四時の眺めの何つれをいみじからずとにはあらねど、わきて春の日の麗かに心も躍り立つ許りなるぞ嬉れし。われ營口に來りて一と歳の冬を過ごしけるに、肌をつんざく北風の吹きすさみていと恐ろしきそらなるのみか、あたりは堅き氷に鎖ざゝれて往き來もまばらに、音づる人もなければ語り合ふべき友どちもなし。淋びしさの彌やまされるが上に、こぞの暮れつかた商用にとて内地に歸りましゝわが良人の此初ふねにて戻りぬべやう言ひ遺して出で立ちませるまゝ、跡は梨のつぶ手のそれならで雁が音の一聲もなし、吁如何なれば今年の冬のわれに斯くはさち少なかりしぞ、想へば營口の閉口と誰人かのいへりしは實に理りとや言はまし。されど今や一陽來復して折々に猶は寒風の吹き狂ふはあれど流石は春の景色なり、黄ばみたる沙烟の中よりも春光微かに南窓を射來りて心も何となうすげ〳〵しく、況して遼河の開河も遠からじと聞けば、わが胸中の憂鬱も何時にか消え失せて希望の波は漫々として大海原の如くなり、實にや青春の長閑けさは人の心も自ら改まりて、過ぎにし冬居の苦しみも忘れたるぞ可笑し、さるにてもわが想ふ人の此初ふねにて歸らましやは。

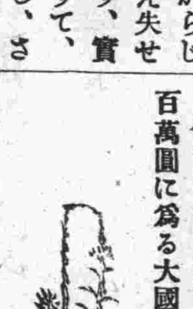
●我輩は喰黨である（上）　遼南逸人

我輩は喰黨である食物本位黨である併し自分は世の所謂喰黨と違つて少食官腹足であるので敢て牛飲馬食が本領で無い最も適切に言へば御馳走黨である▲衣食住の三つは人間生活の三大要件である三者一を缺けば生くべからずといふが衣と住とは我黨に於て必ずしも最緊急要件で無い衛生上差閊の無い限りは木綿の着物も絹の着物も草舍茅屋も金殿玉樓も我れに於て何の差別も無いのである但だ食物に至つては單に其生命を保つといふのみで無く人間が人類として其天職を行ふ上に於て最も靈妙の活動を要するのであるから其食物は是非とも擇ばなければならぬのである▲食物の人に於けるは猶肥料の植物に於けるが如く美しき花を咲かし甘き實を結ばしめんには必ず肥料の選擇を要すると同じく萬物の靈長たる人間に於ては猶更の事である況して單に其力を勞するのみで無く其心を勞する我黨に於ては人體を培養すべき肥料は最も選擇の上に選擇を要するのである▲古へは菜根を咬んで百事成ると言つたが我黨の宗旨からいへばさういふ言は唐人の囈語である人體の組織は最も極めて精巧複雜である時計の機關よりも精巧複雜である隨つて之を養ふ所の食物も單純ては行かぬ菜葉や干魚許りをしやぶつて居たら其顔貌はやつれて其肉は枯燥し其血液は水のやうになつて仕舞ふ是れ人間の食物が山海の珍味を要求する所以で我黨の宗旨も亦實に此に淵源するのである▲勿論疏食をやつて居ても身體の強い者もある百姓や漁夫や坑夫の如き者は其一例であらう併し彼等は平生勞働に慣れて食物の粗惡を補ふ丈けの運動をやつて居るからそれで持ち切れるのであるが我黨の如き適宜の運動すら取るとの出來無くして人類としての活動力を人一倍に發揮せんとする者はさういふ譯に行かぬ

●頭陀袋

▲伊藤侯韓國赴任の辭に曰く歸期知る可らず韓國の土たる亦計り難しと侯にして此決心以て韓國經營の任に當らば一生の惡評は永く侯と相忘れらるゝのみならず湊川に銅像再建の歸依者も屹度出來て來るに相違無い▲薄命詩人の妹そゑ親戚一同から遠隔の地に隱遁して一生を送くれと勸告せらるゝも平氣で化粧三昧とは度し難きは小人と女子とである▲教科書事件の古創連中此頃ドシ〳〵支那へへビめるさうぢや臭氣紛々の支那なれば銅臭位は左程匂はないので意外の人物經濟が出來るのは結構至極である▲昨三十八年中大阪で檢擧せられたる密賣淫婦の總數が千二百三十八人で前年よりも二百三十八人を減じたさうながそれですら千何百といふ數である▲倫敦の乞食は總數四千人一週間一人の貰ひ高が拾五圓で之を一年に計算すると三百萬圓に爲る大國は乞食迄が違ふ（黒坊主）

小説　新作小説　おとし胤（十五）　徳田秋聲



光は、正氣に復ツた時に、何樣なに健三をえらくまた強く思ツたであらう。彼女は心から健三の眞情を感謝し、其の勇氣と膽力とを尊敬した。そして心から健三を見上げた了ツた。最も從來でも、祖父樣の口から度々「健三は、見込のある少年だ仕込むだら。立派な人間になる。」と聞いてゐたので、尋常の貧乏人の子とは思ツてゐなかツたが、それでも左程とは思ツてゐなかツた。「何有！お祖父さんは讃め過ぎる。」と思ツてゐた位。「併し荒馬を取押へた所業を見てから「成程お祖父さんの眼は高い。」とお祖父さんにまで感服して了ツた。此の感謝と尊敬と感服と一所に、光は前より一層健三が好きになツた。

それで歸る途すがらも、光は頻に健三を讃めた彼女の單純な濁らぬ心では、何うにも感情を制へて置くことが出來なかツた。思ツたゞけのことを口へ出すのであツた。

「健三、お前、眞箇に強いのね。私、眞箇に感心して了ツたわ。」

「然うかね、何も感心するほどのことでも無ゐだ。非常の時には非常なことが出來るもんだよ。」

と健三はまた一向無頓着で、功を功のやうに思ツて居らぬ。

「だけども、大概の人は、彼樣な時には慌てゝ了ツて、とても彼樣なに落着いて、彼樣な所業が出來やしないわ。お前には、何うして彼樣な膽力があるの、何うして彼樣な勇氣があるの。」

「格別膽力も勇氣もありやしないだ。たゞ孃さんに負傷をさせては大變だと思ツたもんで、一生懸命になツたゞけのことだよ。」

「それでも、私なんか、もう死ぬばかりだと思ツたもんだから、彼樣に氣が遠くなツて了ツたぢやないか。」

「そりや男と女とは違うだ。」

と事もなげに謂ツて、少しでも誇ツてゐる氣振が見えぬ。

光はまた、其の大人らしい氣風に感服して了ツた。

「お前は、眞箇にえらいね、お祖父さんは、何時もお前のことを、將來にえらい者になるツて謂ツてゐらツしやるけれども、眞箇だわ。お前は、將來に屹度えらい者になるよ。」

「然うかね、ふゝゝ。」と健三は、さも滿足したやうに笑ツて、「俺も、ゑらい人間になりたいと思ツてゐるだが、家が貧乏では爲樣が無えだ。」

「家が貧乏だツて、精出して學問さへすりや、幾らでもゑらい人間になれるわ。」

と光は、慰めるやうに謂ツた。

「そりや然うだ、俺も然う思ツてゐるだけれども……だけれども、此樣なに貧乏では爲樣が無ゐだ。」

「でも昔から、貧乏な家へ生れた人が、反ツてゑらくなるツて事ツたわ。お祖父さん、何時も然う有仰ツてよ。」

「先生は、何時も然う謂ツて勵まして下さるだけれども……」と謂ツて、健三は、活々した眼で、熟と大地を見詰めて、何を感じたのか、急に勢づいて、「いや、失望することは無い海へ入る大きな河でも、木の葉の下を潜ツて流れる時もあるといふから！」

「然うだよ、眞箇に然うだよ。」

その時健三は、何を思出したのか、急に顔を赧めて、少し口籠りながら、

「孃さん」と熱心に呼掛けて、「孃さんは眞箇に俺をえらい者になると思ツてゐるのかね。眞箇に然う信じてゐて呉れるのかね。」

「眞箇だとも！……」と光は、無邪氣に謂ツて、「何故？」

「何故でも……」と謂ツて、少時默ツてゐて「孃さんが眞箇に然う信じてゐて呉れると、俺は、屹度えらい者になる。何樣なことをしても、えらい者になツて見せる！」

光は、少し驚いた。第一其の譯が解らぬ。それで怪訝な顔をして、

「妙ね、何故さ。何故私が然う信じてゐると、お前がえらい者になれるの。」

「何故でも可いだ。だけど、孃さん、お願だから、何時までも何時までも然う信じてゐてお呉ンなさい。孃さんが、信じてゐてさへ呉れたら、俺は誓ツてえらい者になツて見せる。」

光には、何うしても其の譯が解らぬ。何處までも無邪氣に、

「其樣なことはお前頼まなくツても可いぢやないか、私は眞箇に然う思ツてゐるんだから然う思ツてゐるわ。何時までも然う思ツてゐてよ。」

「それで可いだ、俺は屹度えらい者になる。」ときツぱり謂ツて、健三は希望の滿々した愉快さうな顔で空を見上げた。空には、朝の日影麗に輝いて、野にも、山にも、光榮ある春の熾な氣が溢れてゐた。

●片影錄

▲瀬川領事はザル碁中のザル碁ぢやが人一倍の敗け嫌ひである▲長崎技師はあの顔付で玉突と將棊が營口で無敵齋ぢやげな▲營口で酒飲は澤山居るが一度飲み出したら三日も杯を離さぬ者は領事館の片山君であらう▲領事館の異彩で又營口の異彩は杉野君の落語である▲公園遊會などの饂飩摸擬店で必ず出喰はす者は堀越憲兵長である▲朧山税關長は大石橋で豪酒と健啖とが證せられた▲濱村中尉は西比利亞下ろしの風を切る▲與倉長官は自轉車が得意である▲營口の伊藤侯爵といへば誰れでも軍政署の岡部君たるを思ふ▲此老人危ぶないよ何んかて振り向けや失敬々々君かえなどいふ事の往々ありさうなのは山本君である▲砂糖を牛肉で煮て喰ふ程の甘黨は廣い營口でも税關の倉田君の右へ出る者はあるまい（凸坊）

遠征雜詩　犀陽

日俄解兵

今秋滿野粟粱肥　牛馬豚羊新柵扉
一曲笙歌安定報　日露兩國解兵歸

壯士長懷

光陰寸刻値千金　壯士長懷報國心
一曲軍歌時既暮　遙膽敵壘白雲深

春雨　黄雨

咲きあへぬ蕾の花も春雨にぬれてはてろふ今朝の嬉しさ

同　露月

風をうらみ花をいたみて降る雨はをとも靜けき庭の面かな

同　耕南

降る雨のなさけに梅のはてろひてかをりゆかしき春の夜半かな

●聞見錄

先日來營した村上亨一君の滿洲經營談は一風變つて面白い、詳細の談話は後日記載するとして此所に手つ取り早く云へは斯樣だ政府が力を入れて撫順炭を採掘するに至らは其石炭の運賃丈けても東清鐵道の收入は少々で無い其所で其收入を財源に滿洲の經營をやるのだ換言すれは東清鐵道の揚り高を擔保に公債を募集し其金を以て滿洲を經營するのである吾輩は其れでも大に行れると信じて居る公債の募集は近來の流行である一番政府は村上君の意見を採用して經營公債でも募集して見ては如何（聞見子）

廣告

公告

電話交換加入者募集
當局電話交換加入希望の者は至急申込可し
追而二月十五日以前に申込みあるも未た架設に至らざるものは重て申込を要す
明治三十九年三月三日
營口軍政署電話局

夜警決算報告

一銀二百六十三圓五十錢　二月分徴收高
內譯
一銀百五十圓　公議會ヱ苦力費支拂
一仝三十圓　新聞廣告料
一仝二十一圓二十錢　領收書用紙、臨時雇員給料、帳簿料、
差引殘金六十二圓三十錢
右及報告候也
第一派遣所　夜警委員

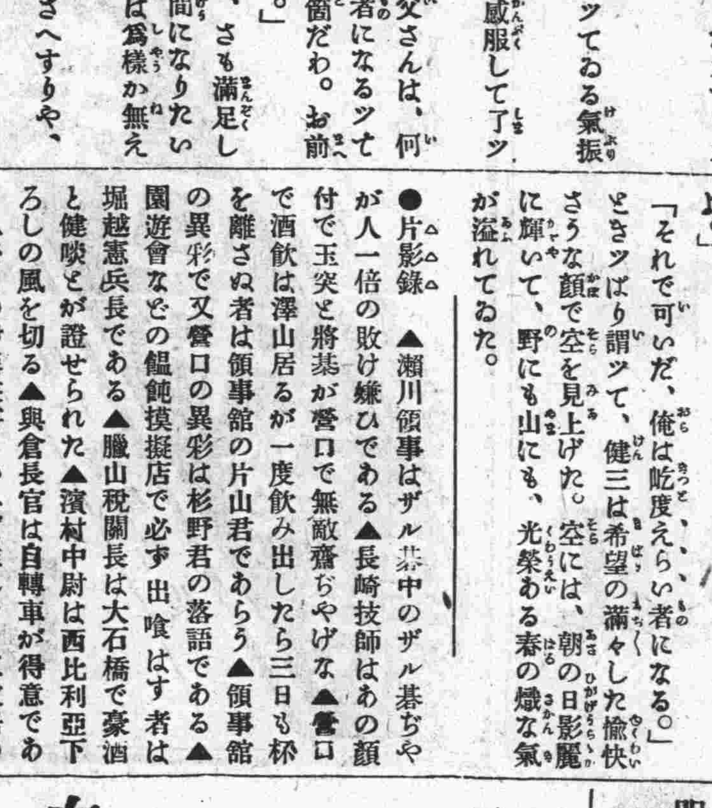
故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度く存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、紙判は美濃紙大
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に
新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則　大清通運公司安田貞藏
同志友人　敬白

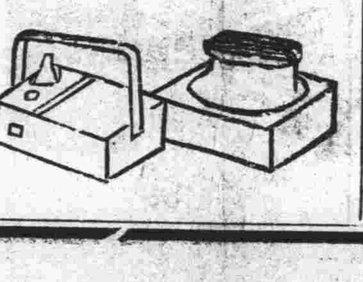
船舶輸出入　荷物取扱　荷物保管
税關手續
市場北三階樓　時計店ノ二階
宮原公司

旅館 **富喜樓**
室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余
南大街　樓主敬白

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候
豊濟門街李俊の前
ペンキ塗請負　京阪組



御手輕料理
一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一鍋壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候
月　日
營口元神廟街二〇九號
翁亭



本店　營口　**彌生**　電話一番
支店　鐵嶺西門外大街　**彌生**
今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候
一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室内裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣ることなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候
館主宮下只七郎

材木 荒物 販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號（平野町）

本店 下關 秋田寅之輔商店

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

雜貨 すし米

醬油 清酒 大樽 半樽

木炭

營口西北街

阪神組

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着

第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候

但貸賣一切御斷申候

ブッシ商會

Yano & Co.

矢野洋行

電話一三七 Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ハ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

淺田飴（あさだあめ）

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣

永世街 東瀛大藥房

房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石、瓦、煉瓦

並に自家製造 廉價販賣

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

醇良自釀清酒

札幌ビール

朝日ビール

口付煙大和

酢 醬油 瓶詰樽詰

菓子色々 鑵詰

洋酒類

右取次販賣

牛莊港東營口

宅合名會社

營口支店

ゼム 財茉 口中香藥

ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑

財茉着芳香馥郁而美味可愛靈約也

大日本東京 山崎愛國堂 大藥房處修

大淸國發賣處

淺野大藥房

營口永世街（二本町）

各國有名靈藥 總寄賣處

大日本政府特定

官製口付紙捲煙草

滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）

（電話百二十七號）

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需に應ず

御旅館 豐陽館

上海（電話一〇六番）

日本郵船會社荷客取扱

歐米瀛船乘船取扱

館主 米田藤吉

○フレノロジー

○西洋揣骨相術 運命窮通歷々指陳如神矣

○人々の頭腦を觀測して身の上はんだんをなす

○觀測料隨意

營口豐淸門街第四十四號李俊氏宅の西半丁

利生堂

鐵嶺 西門外大通

御旅館 御料理

福屋

工

飯塚工程局材料部

營口元神廟前（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

西洋御料理

一並食 御一人前 一圓

一上等 御一人前 一圓五十錢

一特等 御一人前 二圓

此外御注文に應じ一皿三十錢以上とし仕出の御注文にも速時御間に合ひ可申候

拙亭儀元東營口川岸に於て營口亭鄰巴屋と稱し營業罷在候處顧客の御勸めに從ひ左の所へ移轉名を改め一層の注意を加へ營業仕候間倍舊御引立の程偏に奉希候敬白

營口永世街第五十二號（鶴の湯東側通）

牛莊亭

（電話一四六番）

旅人宿 東館

大連市信濃町卅九號地

特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

時刻

塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇〇
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、〇〇	下六、四五
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝邦子至新民	上三、〇〇	下六、五七

永世街口　本願寺出張所

宮門抄

二十日 理藩院 光祿寺 八旗兩翼值日無引見 潤昌顧芳伺候 召見

召見軍機 潤昌 顧芳

奏議

刑部奏遵議變通上海會審公堂刑章摺

奏爲遵 旨速議具奏事光緒三十一年十二月十四日軍機處片交本日奉 旨外務部呈遞周馥電據稱上海會審公堂擬變通刑章以期華洋輕重略均等語著刑部迅速議奏欽此鈔錄原電交出到部查原電內稱上海會審公堂章程如案內全係華人歸華官審判毋庸領事干預近十餘年凡經工部局會提之華人領事派副領事於早堂陪審會審交涉之案何國原被即由何國派員又華民犯罪俟會審判定後枷杖以下罪名由華員發落徒罪以上歸上海縣辦理此向來辦案大概情形也本年奏定新章變通笞杖罪仿照外國罰金辦法如無力完納折爲作工謹當遵照辦理但中外情形不同貧民不名一錢無緩可罰工藝廠尚未開辦無工可作現時到案人犯擬分罪名爲五等一交差帶取保保後不再犯即省釋二公堂暫押取保三交縣發本地保甲管束四笞罪自十至五十暫押公堂十日至五十日仍准輕重量爲增減五杖罪按數改爲監禁如杖一百即監禁百日情重者量加公堂向無牢獄本押所可容男犯百人女犯三十人西人因犯人日多別建牢以羈華犯現監禁五百餘人頗有連枷鐐銬等刑瘐死者不報華官殊不成事今欲自建一牢約估需五十萬金常年經費十餘萬金經費尚苦無著此時監禁之犯不能不暫借西牢應由讞員批明非兇惡及瘋犯不加刑具一俟習藝工廠建成再遵照奏定章程辦理至女犯向押公堂今擬女犯罪輕者交親族或的保管束如拐帶誑騙之案訂明管押日期以十日至百日爲限又錢債案原被皆不跪審惟刑名案向華官前跪審但犯者尚未審實已罹熬審之刑殊覺不合如近日黎黃氏以官眷婦誣爲拐帶深堪憫惻竊以爲洋員陪審無論何犯到堂俱植立聽審俟罪名判定飭其跪聽判詞似較允當等因電由外務部呈遞欽奉 諭旨著臣部迅速議奏臣等竊維上海華洋雜處詞訟繁多凡緝捕拘禁各事辦理稍或失宜皆足以貽口實而滋流弊其原訂會審公堂章程如案內全係華人歸華官審判一條固已劃明權限如果該公堂先事圖維創建牢獄並設立習藝工廠何致有婦女羈禁西牢之案至中外刑章不同彼寬此嚴徒來外人殘酷之譏馴至外人之待華民更加殘酷而不恤如此次黎黃氏被誣管押西牢蓋積漸使然也刑章爲法權所繫亟宜酌量變通俾輕重畧均庶足以劑其平而善其後茲據該署督電稱笞杖改爲罰金惟貧民不名一錢無緩可罰工藝廠尚未開辦無工可作現時到案人犯擬分罪名爲五等臣等詳加酌核如差帶取保省釋並公堂暫押取保及交縣管束此三等尚屬周妥應如所議辦理惟笞罪改押公堂杖罪改爲監禁二等如按笞杖實數作爲押禁日期未免過重查奏定章程無力完納罰金折爲作工應罰金作爲一兩折作工四日以次遞加至十五兩折作工六十日而止等因今該公堂尚未開辦罪犯習藝工廠擬請代以押禁自應按照原定折爲作工日期分別代以押禁以昭平允而歸劃一又所稱今欲自建一牢經費尚苦無著此時監禁之犯不能不暫借西牢應由讞員批明非兇惡及瘋病不加刑具等語具見防維周摯該讞員務須切實遵辦仍令赶緊設法創辦習藝工廠俾得教養有資庶幾遷善更易該署督又稱女犯向押公堂擬將罪輕者交親族或的保管束如拐帶誑騙之案訂明管押日期以十日及百日爲限等語所擬尚屬允協仍令查照婦女贖罪新章分別辦理至洋員陪審無論何犯到堂俱植立聽審俟罪名判定飭其跪聽判詞亦係矜恤罪犯免罹熬審之苦尚屬可行惟既經准免長跪聽審則定案判詞亦應免其跪聽以歸一律總之上海爲通商大埠設立會 公堂歷有年所無論華洋案件總須持平辦理尤在委員得人方能保固法權至改良監獄及收犯習藝尤爲切要之圖未可恃有借禁西牢苟且補苴日久又滋糾葛應令該署督迅速飭屬興辦俟獄舍及工廠告成一律遵照奏定章程核辦以期整齊畫一如蒙 俞允臣部即行文該署督遵照辦理所有遵議變通上海會審公堂刑章緣由理合恭摺具陳伏乞

皇太后 皇上聖鑒謹 奏奉 旨依議欽此

中外要聞

●奏請歸併局所　徐大軍機世昌日昨面奏請將工巡局歸併協巡其工巡局巡捕兵挑其向有資格幹練當差者補入禁中值班等語聞 兩宮尚未俞允

●催藏約簽押　近日外部各大臣以西藏之事迭次熟議已將辦理藏約大臣來電按條參酌昨復電達駐英欽使與英政府磋議早爲簽押勿再遷延

●拒絕俄兵干涉　昨外部照會駐京俄公使略云近以三邊大臣電稱伊犁地方匪民聚衆意在勾結起事貴國欲派兵前往彈壓等情本部大臣已電詢伊犁將軍查覆並無匪民糾衆蠢動之事請速轉電貴國帶兵人員即行停赴伊地即後匪徒或有此等舉動當由本國派兵自行勦捕勿勞貴國干預云云

●直督飭各屬不准示禁私塾文　爲通飭事照得全國學堂無論官設公設私設俱應按照各項定章切實奉行原爲教育統一起見但塾師授館墨守舊法者尚多地方官祇有勸導糾正之權若大張曉諭禁止設立私塾則啓師生猜疑之心於教育行政轉多窒礙按之定章亦無此操切辦法本督部堂風聞各屬間有示禁私塾之事殊屬不知大體須知學堂之優劣日久自明但使諄諭士民聲明定章告以出路自可轉移風氣豈宜強用威力無故驚擾除刁生地棍阻撓學務者仍照章懲處外合行札飭札到該處即便查照通飭遵行

●咨請整頓茶業　厦門商政局近接省垣財政局咨稱閩產茶葉爲出口大宗利源向由茶商赴產茶家就山曬焙或運省自製如白毫烏龍小種等皆上品清芬氣味甲於地球從前各國洋商咸相爭購業茶者莫不獲利曩年茶釐征至百萬少亦七八十萬自印度錫蘭日本產茶日盛而華茶銷減近歲報釐茶數較昔僅存三分之一屢經飭屬認眞整頓且疊奉部行移飭印委妥籌今茶市又遜於去年茶釐短絀商民交困顧興衰暢滯宜如何袪病轉入新機凡茶商應籌者咨請商部議員何道催南臺商會照部咨議覆核辦惟樹藝爲農民根本種茶乃實業要圖招墾荒收地利培茶樹厚性質準節氣合天時固土膏養原汁講製法合銷場純火候免霉變此數端皆種茶要著應即臚列示諭一面責成產茶各地方官認眞勸導實力講求務使天時人事交盡以保生計而挽利權云云

雜報

●軍督嚴飭舉辦屯學　府經銜楊乃時等呈請興辦學堂奉軍督批云興辦學堂爲當今急務原屬刻不容緩前據具呈已批仰遼陽州查明稟覆核奪乃甫越兩日又復呈請派員清查何其喋喋乃爾惟興學等事地方官早應舉辦該州屬媽媽街屯人烟稠密有四百戶之多則各該戶之子弟定屬不少亟宜設立學堂俾資造就仍仰該州凛遵先令批飭查明該屯情形妥籌款項多設學堂是爲至要

●騾夫斃賊　本埠二官塘南岸有萬成驛局於旬前保護遼外磨盤山車戶十數輛往朝陽鎭運貨着一騾夫王錦堂押送王係滄州人技藝超群昨聞騾行人云該車行距鐵嶺城數里忽聞路人傳日前途有二賊剪逕王日賊奈我何驅車直進果有二賊迎來一持快槍一持單刀意在搜刼被王搶前奪刀在手遂飛起一脚賊乃顚踣車外一僕疾掄巨斧向賊頭顱一擊則腦漿迸裂持槍賊駭而回奔王疑賊持空槍必無子彈詎奔出數十武外輒連回槍射之僅傷王之體膚云

●假作兇狂　昨夕河北執路搭坐諸客下車之時有一少年某甲假扮青皮之狀故肆兇狂自若彼悪敢當我者因與巡查決裂適被憲兵所睹批甲數四遂於衣內搜出手槍一桿執而視之乃用堅木製造五步之外幾莫辨其僞者遂拘送於河北衛署云

●車戶控兵爲盜　今聞北來人云前數日有磨盤山車戶等往北運貨行近奉化縣地方突來馬賊九騎搜刼財貨約直千元既聞賊等乃係該縣查路兵勇遂仝赴縣署鳴狀大令徐君懸牌批示言所控賊等姓名不知何營何哨亦未悉一時碍難查辦俟仰該統領核實勘查云云

叢談

●輕氣球　輕氣球者以細密之紙或絲布製成空球內充輕氣能自升極高小兒每以此爲玩物大輕氣球其下能運舟車之類人坐於內乘之以上升然萬物莫不受地心吸力而下落輕氣球反能上升者其故何在蓋流散之質輕者必上浮重者必下沉如以輕木投水中必浮於面雖壓至水底失其所持立即上浮其所以有浮沉之故因流質之較密者受地心吸力更大各質恐皆有下沉而爭其更下之勢質之較疏者吸力較小而不能爭勝反被互軋而上驅所以必升至其面軟木更輕於水不能勝其爭故上浮也輕氣球之製與此同理以更輕於天氣之氣使充球內爲天氣所驅而上升也

大輕氣球能帶舟車而上然球中之氣果輕於天氣而上升舟等物則重於空氣數百倍何以亦能上升此蓋其重積尚不及體積等大之天氣之重積故雖有舟車之重仍能浮於天氣中也試以軟木投水果輕水而上浮設於軟木之體貫以重於水七倍餘之鐵釘置於水底仍能上升但稍遲耳如再加一釘則木將重於等体積之水而下沉矣如更以大於此數十倍之軟木則雖貫以二十鐵釘之多亦難下沉也既明此理則輕氣球能帶物上升之故自無不明矣

報

氣溫　最高溫度五十五度八　最低溫度四十二度六

NEWCHWANG, SUNDAY, MARCH 18, 1906.

An editorial comment by the "China Mail" (Hongkong) has been reproduced under the heading of "British Trade in Manchuria" in the issue of our esteemed contemporary the "Peking and Tientsin Times" in March 14th. last. It has been evidently based on the information received by our Hongkong senior that "Sir Ernest Satow, the British Minister to Peking, sent a Commercial Attache (Mr. Alexander Hosie) to Newchwang, to ascertain what gronnds exist for the complaint that British goods designed for the trade in the interior have been continually blockad for months past."

Mr. Hosie may have already submitted the results of his personal investigation at Newchwang, where he arrived on the 26th. ult. leaving on the 6th. We trust that his report, if already sent in, has clearly set forth the baselessness of this complaint. For, the plain truth of the fact is that no barriers have been raised at Newchwang by the Administration in the way of any goods, last of all, British merchandise intended for the interior, since the return of peace, except, with the best of reasons, during the Plague scare in October and November last year. If a vindication even by a partisan may be tolerated because of its truth, Lt.-Col. Yokura, the Administrator since Japanese entry into the port, has earned the local reputation of being the last officer to deliberately exceed his authority, in exercise of which foreign interests have received, as the changing circumstances have created fresh justifiable claims on his position, all the solicitous consideration consistent with the exacting instructions imposed upon him.

Talking apart from the extraordinary war time, "no permission from him has been necessary," as erroneously alleged in the comment under notice, "for a merchant to establish a business here," for every foreigner (with the only exceptions of Russians before the re-opening of the Consulate here) has been left to his freedom to start at Newchwang any kind of legitimate business consonant with the peace and order of society. Only, a new establishment in such line of trade as pawnbroking for instance, in which the local police acquire an official interest in discharge of their duties is required to be *reported* merely.

About a month ago, an application for a license was made by a member of one of the leading firms here for opening a club for Chinese. When informed of no need existing for a license, the applicant explained that without one from the Administration, the natives would be shy of patronizing the resort. Thereupon, he was requested to submit in writing the nature of the contemplated enterprise, and the matter has not come up again since before the attention of the authorities.

Admitting that "the Japanese have control of the railway" as a dearly-bought spoil of war, as long as the withdrawal of troops has gone on, it has naturally taken up the greater part of the transport capacities of the line, leaving for tradal purposes just a meagre portion, in dispensation of which, however, no partial discrimination has been made in favour of the Japanese traders, while the departing "winter has closed the Liao to traffic." Not a foreigner having yet applied in person for the booking of merchandise at Niuchiatun Station, which was, by the way, shifted from charge of the Administrator in early February last, if Chinese agents have acted for "the foreign rivals" in this matter, they have shared the railway facilities equally with the Japanese.

On the whole, a comment of this description framed upon faulty premises is calculated to give rise to serious misunderstandings to a gross injustice to the Japanese Administration, and is to be all the more deplored, emanating, as it has, from a British journal of high standing.

A general break-up in the River ice began last Friday, and by yesterday morning, the turbid stream was almost cleared of the floes, but in the afternoon ice-blocks of inconsiderable sizes were seen floating down on the ebbing tide. Local nautical experts are putting the 22nd. as a pretty safe date for the disappearance of danger to shipping from the ice.

Mr. D. Mullen, Postal Officer of the I.C.P.O. Newchwang, who had left for Mukden to make an inspection of the Post Office there, returned home yesterday afternoon.

With bar silver at 29⅞, a jump of a full sen raised the Bank note to 99¼ yesterday.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 柏屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 料理 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豐濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

京東 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豐濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 一力 並ニ溫泉 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館 料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園挹

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 營口今朝太郎

會席 玉家 御料理 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

旅館 天神館 奉天小西關大街北側 館主 荒川一松

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江龍男（電話 號）

料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓 仲居 新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

お料理 滿月 平の町（電話） 滿月支店 平の町（元都樓跡） 店主 青木勝恵

和洋御料理 會席

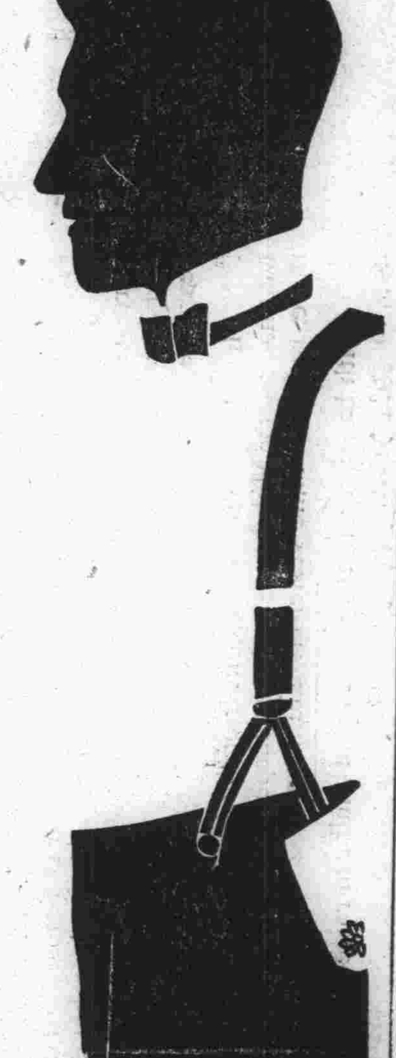
一 弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二 奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位様

一 關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一 海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一 鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一 船舶貨物取扱
一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號 大淸通運公司 營口支店

諸鐵工製作 鑛山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般
營口ブリツジ 綏定商會 門街東 喜川鐵工場

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合



新着！ 舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、鏡入、雛人形東京市松、はこせこ、莨入、蒔繪莨入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、元祿模樣、絹首卷、ハンカチーフ、花簪、鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髮道具類、春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口 加藤洋行（電話八十番）

發賣 料木 標子 木板 清國營口二本町二五五號 塩川商會 主任 鹽川峯吉（電話一三六番） 遼陽小西門内 鹽川商會

●建築用材 電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本 外に 北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干燻魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

發賣 標子 木板 料木 營口青堆子 清水亭木局（電話九十六番）

爲替相場（三月十六日）
日本向 九十八圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二圓（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類 一〆 美濃紙 二圓九十錢より五圓廿錢
一〆 半紙 全 七圓五十錢
一全 状袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一 滑圖 百枚 十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具 矢野洋行
三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 薄縁 二圓六十錢以上三圓
一 麻緞通 十枚 八圓
一疊敷 三圓

MANCHURIA DAILY REPORT. Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ケ月前金 銀八十仙 半ケ年前金 四弗八十仙